

# 「英語で教室から世界とつながる」プラットフォーム事業 “Opening a New World from the Classroom” Project, Hiroshima



## Hwaseong Middle School



### 交流授業

#### 第1回交流授業



学校紹介クイズの様子



自己紹介の様子

#### ①挨拶、授業の流れの確認(全体)

相手校の教員が挨拶を行い、授業の流れを確認した。

#### ②学校・地域紹介(全体)

両校の生徒がパワーポイント資料を提示しながら、自分たちの学校や地域について紹介した。本校の生徒は、1つのトピックにクイズを1問入れて発表した。相手校の生徒が手を挙げる等して、クイズに参加してくれた時には、言葉が通じていると実感し、盛り上がった。

- ◆高野中学校…地域の有名なもの、時程、科目、規則、部活動、行事
- ◆Hwaseong Middle School…地域の有名なもの、時程、韓国語等

#### ③自己紹介(グループ)

両校の生徒が、4つのグループに分かれてブレイクアウトルームに入り、自分の名前、ニックネーム、好きなもの等について交流した。言葉で伝えるだけでは難しいと思い、紙に大きく名前の呼び方を書いたり、好きなものの写真を貼ったりして伝えた。“Once more.”などの英語が自然と出ており、何とか相手の話を理解しようとしていた。

#### ④振り返り(全体)

両校の生徒の代表が授業の感想を述べ、本校の教員がまとめをして終えた。

≪接続方法：Zoom≫

### 大切にしたこと

- ・生徒一人一人が話す機会をもてるように、小グループでの交流を実施した。
- ・相手校の生徒とできるだけ双方向のやり取りができるように、紹介の時もクイズを入れたり、失敗を恐れずコミュニケーションを図ったりすることを大切にされた。
- ・声が聞こえなかったり、反応がなかったりした時に相手に伝えられるように、そのための英語表現を事前に学習し、当日もホワイトボードに示しておくようにした。
- ・会話が途中で止まって困ることがないように、どんな話ができるかを考えさせ、話題をたくさん準備するようにした。

### 生徒の声

- ・自分の名前を呼んでもらうことができ、よい思い出になった。
- ・相づちを打ったり反応したりすることで話がとて弾んだ。
- ・クイズの時、相手に伝わって嬉しかった。
- ・韓国のことが分かったり、クイズに参加できたりしてとても楽しかった。
- ・色々な日本の文化が韓国にも入っていると知ることができた。
- ・今までにない体験だったので、一生忘れられない体験になった。

## 庄原市立高野中学校



#### 第2回交流授業



クイズに参加している様子



自己紹介の様子

#### ①挨拶、授業の流れの確認(全体)

本校の教員が挨拶を行い、授業の流れを確認した。

#### ②クイズで文化紹介(全体)

両校の生徒がパワーポイント資料を提示しながら、自分たちの国の文化についてクイズを取り入れながら紹介した。互いに参加型であるクイズを行うことで、正解した時などには盛り上がった。

- ◆高野中学校…食べ物、アニメ、ゲーム、自然、日本語等
- ◆Hwaseong Middle School…食べ物、歴史、文化、スポーツ、韓国語

#### ③自己紹介(グループ)

両校の生徒が、前回と異なる4つのグループに分かれてブレイクアウトルームに入り、自分の名前、ニックネーム、好きなものなどについて交流した。前回作成した自分の名前や好きなものの写真を貼った紙を活用し、会話を行った。相手校の生徒が日本のことをよく知っていることに気付いたり、名前を呼んでもらえたりして、生徒は嬉しかった。

#### ④振り返り(全体)

両校の生徒の代表が授業の感想を述べ、相手校の教員がまとめをして終えた。

≪接続方法：Zoom≫

### 交流を終えて

### 先生の声

- ・発表よりもクイズの方が盛り上がり、つながりを感じて楽しく交流できた。
- ・自分のことを知ってもらおうと一生懸命英語で伝える姿や、相手のことを知ろうと何度も英語で聞いている姿が見られたことにより、教員が教えてきたことを生徒が生かしていると実感するとともに、コミュニケーションを図る必然性をもたせることは大事だと感じた。
- ・グループでの会話の際には、事前に話題をたくさん考えたり、声が聞こえない等のトラブルに対応できる英語表現等を確認したりしておくことで、自分たちで色々な話のできていたので準備は大切だと思った。